

第12回 顔振峠

第11支部 (有)若林商店
若林 裕司
平成14年12月22日 曇り

クリスマス前の12月22日に、奥武蔵ハイキングコースの西部秩父線吾野駅から顔振峠をへて越上山の山頂を登り、そして東吾野駅へもどるコースで所要時間が3時間半のコースと言う話でした。

参加者は、10名で、後の飯能で行った忘年会には、2名の追加参加がありました。この日は、前日に降った雪が、山の彼方此方にまだ残っているたいへん条件の悪い日でしたが、顔振峠の展望台からの360度の展望は雄大な眺めでした。

もう一つの越上山山頂は樹木が多いのであまり眺望はよくなかったのですが、山頂でお湯を沸かしていただいた紅茶は格別の味でした。皆さん曇り空の気温が上がらない中、汗だくでガンバッテまいりました。そして今回もっとも汗だくだったのが私で、幹事の二人は涼しい顔でまだ歩き足りないそぶりでした。もっとも幹事は元山岳部、こちらはかっこだけのナンチャッテハイカー。健脚度はケタ違いです。しかし行く前の話では、初心者コースでやさしい山道と聞いていましたが、平坦な山道などほんの少しで、登ったら下りるの繰り返しで、少しも景色や澄んだ空気を楽しむ余裕もありませんでした。

最近の運動不足を一日で解消しようと思った私も浅はかでしたが、日常生活で一日に2万歩も歩く事など皆無です。もっと歩くことに心がけなければならぬと反省しきりです。せっかく体脂肪も数パーセントは下がっていた筈ですが、3時ごろから始めた忘年会では、心地よい疲労感でお酒も進みまして、すっかり元に戻ってしまいました。

最後に提案があります。ハイキング同好会の名称は誤解を招きます。今後は山岳同好会と改名して下さい。